

川崎市建築物環境配慮制度受付番号 22013

建築物名称	ガーラ武蔵小杉グランドステージ
建築主	株式会社FJネクスト 代表取締役 肥田 幸春
建築物の所在地	川崎市中原区小杉御殿町二丁目161番2
設計者氏名、建築士事務所名	朝倉 崇夫 株式会社朝倉崇夫都市建築設計事務所 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	3,913.11㎡
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上7階
工事完了年月	令和6年1月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	なし

CASBEE川崎

■使用評価マニュアル: CASBEE-川崎2017年版

使用評価ソフト: CASBEE-川崎2017(v.3.1)

評価結果

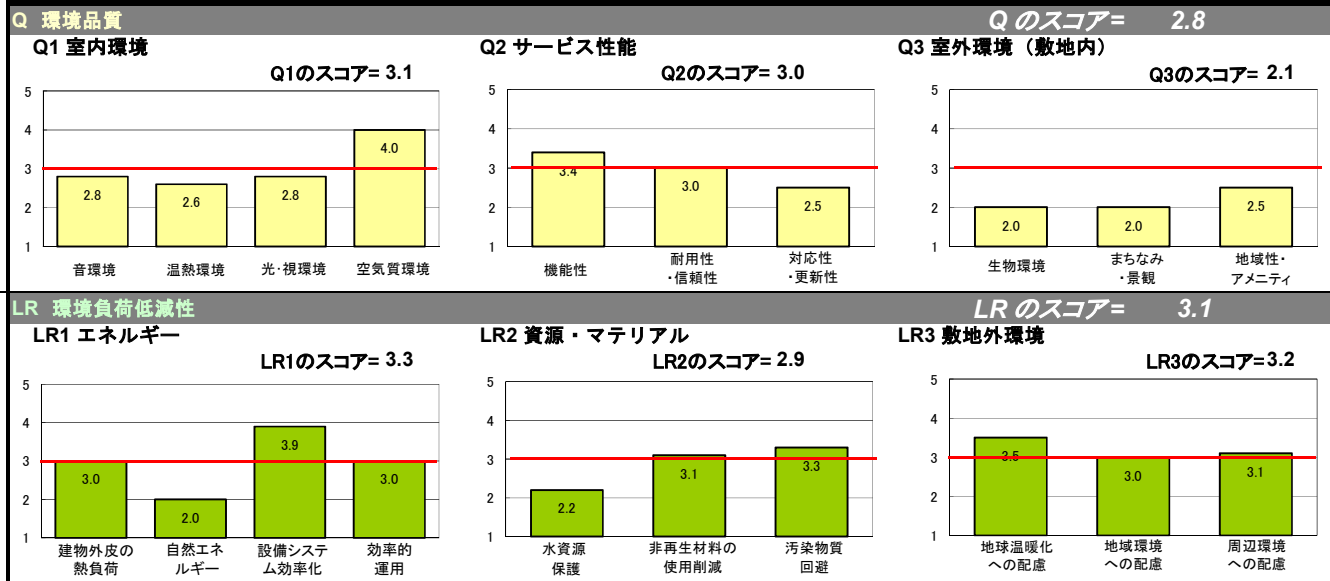
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ガーラ武蔵小杉グランドステージ	階数	地上7F、地下0F
建設地	神奈川県川崎市中原区小杉御殿町二丁目161番2	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	113 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 竣工	評価の実施日	2022年6月20日
敷地面積	1,482 m ²	作成者	福山 雅也
建築面積	644 m ²	確認日	2022年6月20日
延床面積	3,913 m ²	確認者	朝倉 宗夫

外観パース等
パースの公表を希望される場合は
図を貼り付けてください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.6
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出	敷地内に中高木を植栽し、生物環境の保全と創出へ配慮 花の咲く植物や実の成る植物を選定し、まちなみ・景観へ配慮 豊富な植栽を計画し、温熱環境の向上に努める	1.9/4.3	2.2
2 まちなみ・景観への配慮			
3 敷地内温熱環境の向上			
3.2			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	豊富な植栽を計画し、温熱環境の向上に努める	0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.0
Q-1 ■ 室内環境対策			
2 2.1 2.1.2 外皮性能	カーテンと庇を組み合わせてグレアを制御	1.6/2.3	3.5
3 3.1 3.1.3 昼光利用設備			
3.2 3.2.1 昼光制御			
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出	敷地内に中高木を植栽し、生物環境の保全と創出へ配慮 豊富な植栽を計画し、温熱環境の向上に努める	1.1/2.3	2.3
3 敷地内温熱環境の向上			
3.2			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	BEI=0.91	3.4/5.0	3.4
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護	リサイクル資材を使用 ノンフロン断熱材を採用	2.8/4.7	3.0
2 非再生性資源の使用量削減			
3 3.2 フロン・ハロンの回避			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	豊富な植栽を計画し、温熱環境の向上に努める	0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.1
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 部品・部材の耐用年数	劣化対策等級2相当	0.3/0.5	3.3
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護	リサイクル資材を使用	2.3/4.0	2.9
2 非再生性資源の使用量削減			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	付置義務を満たす駐輪場・駐車場の確保	0.3/0.4	3.3
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	2.9
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出	敷地内に中高木を植栽し、生物環境の保全と創出へ配慮 豊富な植栽を計画し、温熱環境の向上に努める	1.1/2.3	2.3
3 敷地内温熱環境の向上			
3.2			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	BEI=0.91	3.4/5.0	3.4
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	豊富な植栽を計画し、温熱環境の向上に努める	0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **2.9**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級2相当	0.1/0.1	4.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
2 2.2 既存建築躯体等の継続利用		0.7/1.2	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	BEI=0.91	3.4/5.0	3.4
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

CASBEE-川崎2017年版 ガーラ武蔵小杉グランドステージ						欄に数値またはコメントを記入						
スコアシート		実施設計段階				重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	G	W	R	H	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質												2.6
Q1 室内環境								0.40		-		3.1
1 音環境							2.0	0.15	3.1	1.00		2.8
1.1 室内騒音レベル							3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音							1.0	0.50	3.2	0.50		
1 開口部遮音性能						<住居>サッシ遮音等級T-2	1.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能								-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								-	3.0	0.20		
1.3 吸音								-		-		
2 温熱環境							2.0	0.35	2.9	1.00		2.6
2.1 室温制御							3.0	0.50	3.6	0.50		
1 室温						<住居>冬期24℃、夏期26℃の室温を実現するための空調設備を設置	3.0	0.63	4.0	0.63		
2 外皮性能		W					3.0	0.38	3.0	0.38		
3 ゾーン別制御性								-		-		
2.2 湿度制御						<住居>湿度制御機能を有し、断熱補強により結露防止対策を実施	1.0	0.20	4.0	0.20		
2.3 空調方式							1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境							2.8	0.25	2.9	1.00		2.8
3.1 昼光利用							1.8	0.30	3.4	0.30		
1 昼光率						<住居>昼光率:2.0%以上	1.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口								-	1.0	0.30		
3 昼光利用設備		W					3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策							2.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御		W				<住居>カーテンと庇(上階バルコニー)を組み合わせることでグレアを制御	2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度							3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御						<共用>タイマーによる自動照明制御	5.0	0.25	1.0	0.25		
4 空気質環境							4.0	0.25	4.1	1.00		4.0
4.1 発生源対策							4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質						<共用><住居>全面的にF☆☆☆☆の建材を採用。	4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気							4.0	0.40	4.3	0.38		
1 換気量						<共用><住居>建築基準法に対し、1.4倍以上の換気量を確保	5.0	0.50	5.0	0.33		
2 自然換気性能						<住居>居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保		-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理								-		-		
1 CO ₂ の監視								-		-		
2 喫煙の制御								-		-		

Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	3.0
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1	広さ・収納性				3.0	0.40	5.0	0.60	
2	高度情報通信設備対応						5.0	1.00	
3	バリアフリー計画				3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性									
1	広さ感・景観				1.0	0.30	2.0	0.40	
2	リフレッシュスペース						3.0	0.50	
3	内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理									
1	維持管理に配慮した設計				3.5	0.30			
2	維持管理用機能の確保				4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震・制震・制振									
1	耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.50			
2	免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数									
1	躯体材料の耐用年数	R			3.3	0.30			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	R			4.0	0.20			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	R			2.0	0.20			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	R			4.0	0.10			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	R			3.0	0.10			
6	主要設備機器の更新必要間隔	R			5.0	0.20			
2.4 信頼性									
1	空調・換気設備				2.8	0.20			
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20			
3	電気設備				1.0	0.20			
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20			
5	通信・情報設備				4.0	0.20			
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
1	階高のゆとり						1.6	0.50	
2	空間の形状・自由さ						2.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									
1	空調配管の更新性				3.2	1.00			
2	給排水管の更新性						1.0	0.40	
3	電気配線の更新性						3.0	0.50	
4	通信配線の更新性				3.0	0.10			
5	設備機器の更新性				5.0	0.10			
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)									
1 生物環境の保全と創出				G	W				
2 まちなみ・景観への配慮				G					
3 地域性・アメニティへの配慮									
3.1 地域性への配慮、快適性の向上									
3.2 敷地内温熱環境の向上				G	W				

22013

ガーラ武蔵小杉グランドステージ

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に基づいています。